

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
 恵比寿ネオナート
 ジャパン・ホテル・リート投資法人
 代表者名 執行役員 増田 要
 (コード番号：8985)

資産運用会社名
 ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古川 尚志
 問合せ先 取締役 財務企画本部長 花村 誠
 TEL：03-6422-0530

2023年7月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の2023年7月度におけるホテルの運営状況につき、変動賃料等導入25ホテル（注1）合計の月次売上高並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR及びRevPARを下記のとおりお知らせいたします。

なお、各ホテルの個別の運営実績につきましては、本投資法人のホームページ（注2）に掲載していますので、当該ホームページをご参照ください。

本投資法人は変動賃料の支払いを伴うあるいは運営委託収入を得るホテルであって、ホテル賃借人等から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

【ご参考】

ホテル/項目		7月度	対2022年 同月増減 (注9)	対2022年 同月増減率	累計 (注10)	対2022年 累計増減 (注11)	対2022年 累計増減率	対2019年 同月増減率 (注12)	対2019年 累計増減率 (注12)
変動賃料等導入 25ホテル合計	稼働率	78.0%	10.5%	15.6%	76.3%	18.8%	32.7%	-11.3%	-11.1%
	ADR (円)	20,761	6,347	44.0%	17,237	5,757	50.1%	16.3%	8.4%
	RevPAR (円)	16,198	6,473	66.6%	13,150	6,551	99.3%	3.2%	-3.6%
	売上高 (百万円)	5,375	1,782	49.6%	31,597	13,639	76.0%	-1.3%	-8.5%
うち HMJ16ホテル	稼働率	77.9%	11.7%	17.7%	76.2%	19.9%	35.3%	-13.0%	-11.8%
	ADR (円)	23,338	6,766	40.8%	19,438	6,411	49.2%	18.7%	11.2%
	RevPAR (円)	18,172	7,206	65.7%	14,818	7,480	101.9%	3.3%	-1.9%
	売上高 (百万円)	4,695	1,502	47.0%	27,818	11,904	74.8%	-1.4%	-7.6%

※2020年2月以降、新型コロナウイルスの影響が大きいため、対2019年比増減率を併せて記載しています。

<特記事項>

2023年7月の訪日外客数は、韓国、シンガポール、米国、豪州等、複数の国・地域が牽引し、中国を除く総数が2019年同月を上回り、全体でも2019年同月比-22.4%と、前月より5.6ポイント改善しました。また、国内レジャー需要についても、引き続き堅調に推移しています。

本投資法人の、変動賃料等導入25ホテル合計のADRは、魅力的な商品造成や効果的なマーケティング・セールス施策など高単価販売戦略の推進により、本年5月度以降、2019年同月比で10%超の成長が継続しています。2023年7月度は、2019年同月比で+16.3%のADR成長が牽引し、RevPARは同+3.2%と、2019年同月を上回る結果となりました。

今後の見通しについては、8月度に台風の影響はあるものの、引き続きADRの成長によるRevPARの順調な回復が継続するものと見込んでいます。

- (注1) 変動賃料等導入25ホテルとは、HM J 16ホテルに、イビスタイルズ京都ステーション、イビスタイルズ札幌、メルキユー
ル札幌、メルキユール沖縄那覇、メルキユール横須賀、the b 池袋、the b 八王子、the b 博多及びthe b 水道橋を加えた25
ホテルをいいます。また、HM J 16ホテルとは、神戸メリケンパークオリエンタルホテル、オリエンタルホテル 東京ベイ、
なんばオリエンタルホテル、ホテル日航アリビラ、オリエンタルホテル広島、オリエンタルホテル 沖縄リゾート&スパ (旧
オキナワ マリOTT リゾート&スパ)、アクティブインターシティ広島 (シェラトングランドホテル広島)、オリエンタルホ
テル福岡 博多ステーション、ホリデイ・イン大阪難波、ヒルトン成田、インターナショナルガーデンホテル成田、ホテル日
航奈良、ホテル オリエンタル エクスプレス 大阪心斎橋、ヒルトン東京お台場、ホテル オリエンタル エクスプレス 福岡天
神及びオリエンタルホテル ユニバーサル・シティの16ホテルをいいます。
- (注2) 各ホテルの個別の運営実績につきましては、以下のホームページをご参照ください。
<https://www.jhrth.co.jp/ja/portfolio/review.html>
- (注3) 上記の数値及びコメントは資産運用会社が賃借人等から提供を受けた数値あるいは情報に基づいて算出・作成したものです。
コメントはあくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。
- (注4) 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経っていないため、資産運用会社による独自の検証を行い得る性質のものではなく、
個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。また、各月の
売上及びその合計は、後に提出する有価証券報告書等に記載される各月の売上あるいは6か月間及び年間の売上合計と一致し
ない場合があります。
- (注5) 稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
- (注6) ADR：平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を含みます。) を同期間
の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注7) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期
間の販売可能客室数合計で除した値をいいます。
- (注8) 客室稼働率については小数点以下第二位を、ADR、RevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。
売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- (注9) 対2022年同月増減とは当該月と2022年同月との増減を記載しています。
- (注10) 累計とは期首 (1月) から当該月までの累計値を記載しています。
- (注11) 対2022年累計増減とは、期首 (1月) から当該月までの累計値と2022年期首から前年該当月までの累計値との増減を記載して
います。
- (注12) 対2019年同月増減とは当該月と2019年同月との増減を記載しています。また、対2019年累計増減とは、期首 (1月) から当該
月までの累計値と2019年期首から2019年該当月までの累計値との増減を記載しています。
- (注13) 売上高はテナント賃料を除くホテル部分のみの売上です。

* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.jhrth.co.jp/>